

人文科学研究科日本文学専攻 博士後期課程（博士（文学））

＜教育課程におけるアセスメント・ポリシー＞

「学生の学修成果の評価（アセスメント）」について、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、下記のとおり検証を行う。具体的な検証項目については、別途定めるアセスメントシートを用いて実施する。

1. 目的

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示された学生の学修成果を把握・評価することで、教育の改善・向上に結びつける。

2. 測定項目

- (1) 入学段階において、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）で求める博士後期課程に必要な高度な学力、研究成果を論理的にまとめ、論文を作成する能力、学術の発展に寄与する能力、高い専門性を持ち、その力を社会や学界に発信する能力が身についているか、アセスメントシートを用いて測定を行う。
- (2) 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく取り組みと成果を通じて自らの専門領域の研究をさらに深め、主題を自ら設定し、論理的に思考する能力、日本文学を孤立的なものとし、国際社会の多様な関係の中から築きあげられたものとして捉える能力が身についているか、アセスメントシートを用いて測定を行う。
- (3) ディプロマ・ポリシー（大学の学位授与方針）で求める必要な能力が身についているか、アセスメントシートを用いて測定を行う。

3. 実施体制

アセスメントの実施主体は、日本文学専攻会議とする。

4. 実施および公表

- (1) アセスメントは、別に定めるアセスメントシートにより実施する。
- (2) 検証結果を踏まえた教育の改善・向上の内容は、積極的に自己点検・評価書類にて公表する。